



明日に架ける橋

進路だより第10号

2020/2/14

兵庫県立明石高等学校
進路指導部発行

□意識改革の必要性□

1 あなたの授業の受け方は？

3年生は現在、私立大一般入試の最中で、各場所で奮闘しています。さてそのような中で2年生のみなさんは、受験を来年に見据え、今どのような取り組みをしているのでしょうか。1年生のみなさんは、2年先の受験に対してどのような意識で過ごしているのでしょうか。

今日のテーマは『授業の受け方』です。みなさんはどのタイプでしょうか。

- ①授業中、先生の話聞いて板書を書いているだけ。
 - ②授業中、板書だけでなく、必要な部分のメモをとりながら話を聞いている。
 - ③授業中、先生の話聞きながら「なぜこうなるのかな」「これってこういうことなのかな」「もしかしてこういうことなのかも」と頭の中で考えながら授業を受けている。
 - ④授業中、「分からない、無理だ」と考えながら、とにかく終わるまで耐えている。
- その他にも、タイプはあると思いますが、①～④を比較すると、どの受け方が良いと考えますか？

人間の脳には、様々な感情によって分泌される脳内物質があります。「アドレナリン」「ノルアドレナリン」「ドーパミン」などはみなさんも耳にしたことがあるのではないのでしょうか。この他にもありますが、このような物質は、恐怖・緊張・喜び・不安を感じた時に、分泌されるそうで、それらの物質は記憶を増強する作用があるそうです。

例えば、みなさんの中で、1度しか経験していない怖い経験を、今でもよく覚えているとか、部活動で緊張して臨んだ試合は細かいところまで覚えているとか、最高に楽しかったり嬉しかったりした出来事・記憶は時間が経っても鮮明に残っているという経験はないですか？なぜなのでしょう？単語は頑張っ覚えてようとしても頭に残らないのに…、また覚えてもすぐ忘れてしまうのに…。

これには先ほど挙げた脳内物質が大きく影響を与えているそうです。だから、授業や学習において、この作用を上手く使えば、効果が期待できるということです。理想的な形は、勉強することに「喜びや楽しみを見いだすこと」です。しかし、これは感情が大きな影響を与えるため、なかなか難しいですよ？そこで、もう一ついい方法があります。

それは

「その1時間の授業内容を、その授業が終わった後で、友人に説明・解説することを前提に授業を聞く」

です。これを行おうとすると、緊張を強いられます。主体的に聞かなくてははいけません。緊張をするということで、授業を受けている最中に脳内物質が分泌され、ただ聞いて板書を写しているより、記憶にしっかり残るし、理解も進みます。また、これは好きとか嫌いという感情とは関係がないので、意識次第で出来るのではないのでしょうか。

「やるか、やらないか」はあなた次第です。

2 主体的に「考える」こと

2月5日（水）の6限目、一年生の2～8組の生徒を対象に進路講演会が行われました。講師には神戸セミナー校長の喜多先生をお招きしました。その喜多先生のお話の中で印象に残ったことがいくつかあります。

- 「お前には無理だ」と言われたら、スネたりキレたりせずに、なぜそう言われたのかを考える。
- 上手くいかなかった時に、「ダメだ」と諦めたり、落ち込んだりするのはなく、「やり方を変えれば上手くいくはず」「上手くいくようにするにはどうすればいいか」を考える。
- 上手くいかないのは「作戦ミス」と「準備不足」です。

みなさんどうでしょうか？無理と言われたり、少し上手くいかなかったりしただけで、「自分には能力がない」「無理だ」と諦め、目標を下げていませんか？それではダメだとおっしゃっていました。そして、常に言われていたのが「自分で考える」ということです。これからの時代「主体性」はとても大切であると言われています。今まで失敗しても、その時へこむだけで、「何がまずかったのか」「どのように改善すれば上手くいくか」と考えてなかった人、このような考え方に切り替えてこれからの目標に立ち向かっていきましょう。

□情報収集の重要性□

1 志望校についてどれだけ知っていますか？

みなさん、自分の志望校についてどれほどの情報を知っていますか？例えば、どのような学部・学科があるのか、アドミッションポリシーは何なのか、入試科目・入試方式、卒業生の就職先などです。意外とみなさん知らないことが多いのではないのでしょうか？

ではなぜ知らないのか…。それは、知ろうとしないからです。または少し知っただけですべて知った気になっているからです。情報において「知らなかったから損をする」ということは非常に多く、知った上で数ある選択肢から選択することと、知らなかったせいで、限られた選択肢から選ばざるを得ないことは全然違います。また、これらの情報は待っていても手に入りません。ですので、自分から情報を得るために、動きましょう。また、人から与えられた情報も、そのまま鵜呑みにするのではなく、自分でもう一度調べてから、自分に落とし込むようにしましょう。

2 自分をよく知ること

みなさん、現在自分が採用している勉強の仕方は自分に合っていますか？最適を見つけることは難しいかもしれませんが、いかがでしょう？勉強の仕方というのは、具体的な勉強法もそうですが、塾もそのひとつです。成果が上がっている人は当面、現状でいいとは思いますが、そうでない場合、現状を見直す必要は大いにあるのではないのでしょうか。その時に、自分のタイプというのが選択をする上での重要な要素になると思います。時間をかけないと単語の暗記ができない人は、その時間の工面から工夫が必要ですし、集団の授業では理解が追いつかない人は、個別で質問に行くとか、塾も個別のタイプを選ぶとか…。成果の上昇がない方法を繰り返してもなかなか結果はでません。PDCAサイクルと言われますが、結果に対して振り返り、自己の向上に努めて欲しいと思います。